

## 第57回 県政に関する世論調査の結果について

令和元年5月30日  
千葉県総合企画部報道広報課  
電話：043-223-2247

県政に関する世論調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的として、昭和50年度から毎年実施しています。

平成18年度から年2回実施しており、今回は平成30年度2回目の調査で県内在住の満18歳以上の男女3,000名を対象に実施しました。

具体的な内容としては、千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」、救急安心電話相談、電話de詐欺への対策、県民の治安に対する意識と警察に求めること、サイバー空間の安全対策、ワーク・ライフ・バランス、地域リハビリテーション、道路整備、森林の働きや利用、有機農業、気候変動による影響への適応の11項目について調査を実施しました。

### 1 調査の設計

(1) 調査対象 千葉県在住の満18歳以上の男女個人

(2) 標本数 3,000人

(3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックに分類し(層化)、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して(二段)、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

(4) 調査方法 郵送法・オンライン調査法の併用  
(郵送配付ー郵送・オンライン回収)

(5) 調査時期 平成30年11月22日～平成30年12月14日

### 2 回収結果

有効回収数(率) 1,212(40.4%)

### 3 調査の項目

- ①千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」について
- ②救急安心電話相談について
- ③電話de詐欺への対策について
- ④県民の治安に対する意識と警察に求めることについて
- ⑤サイバー空間の安全対策について
- ⑥ワーク・ライフ・バランスについて
- ⑦地域リハビリテーションについて
- ⑧道路整備について
- ⑨森林の働きや利用について
- ⑩有機農業について
- ⑪気候変動による影響への適応について

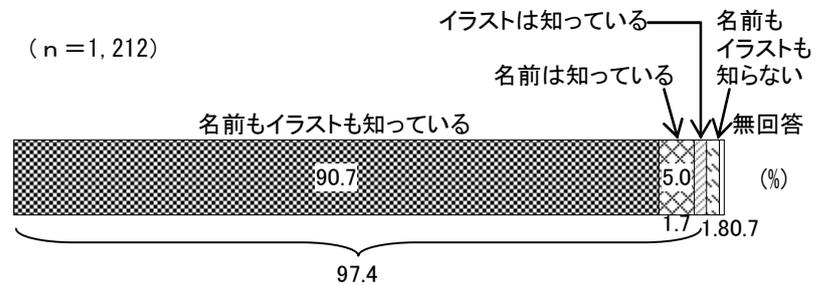
## 4 調査の結果

### 1 千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」について

#### (1) 「チーバくん」の認知度

「チーバくん」の認知度を聞いたところ、「名前もイラストも知っている」(90.7%)が9割となっており、これと「名前は知っている」(5.0%)、「イラストは知っている」(1.7%)を合わせた『知っている(計)』(97.4%)が約10割で高くなっている。

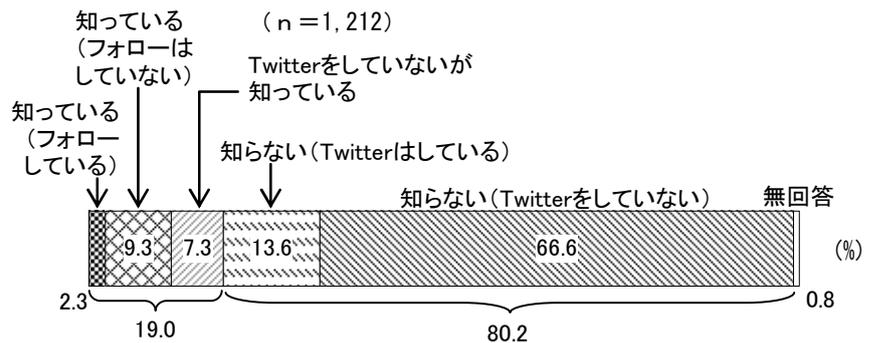
一方、「名前もイラストも知らない」(1.8%)はわずかである。



#### (2) 公式Twitterの認知度

チーバくんの公式Twitterの認知度を聞いたところ、「知っている(フォローしている)」(2.3%)と「知っている(フォローはしていない)」(9.3%)、「Twitterをしていないが知っている」(7.3%)を合わせた『知っている(計)』(19.0%)が約2割となっている。

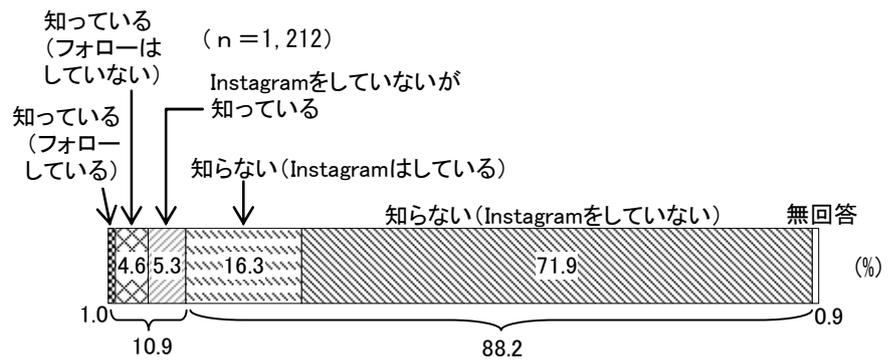
一方、「知らない(Twitterはしている)」(13.6%)と「知らない(Twitterをしていない)」(66.6%)を合わせた『知らない(計)』(80.2%)が8割で高くなっている。



### (3) 公式Instagramの認知度

チーバくんの公式Instagramの認知度を聞いたところ、「知っている（フォローしている）」（1.0%）と「知っている（フォローはしていない）」（4.6%）、「Instagramをしていないが知っている」（5.3%）を合わせた『知っている（計）』（10.9%）が1割となっている。

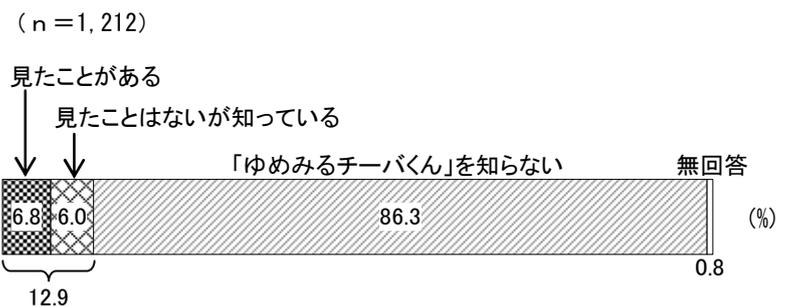
一方、「知らない（Instagramはしている）」（16.3%）と「知らない（Instagramをしていない）」（71.9%）を合わせた『知らない（計）』（88.2%）が約9割で高くなっている。



### (4) テーマソング&ダンスの認知度

チーバくんのテーマソング&ダンス「ゆめみるチーバくん」を見たことがあるか聞いたところ、「見たことがある」（6.8%）と「見たことはないが知っている」（6.0%）を合わせた『知っている（計）』（12.9%）が1割を超えている。

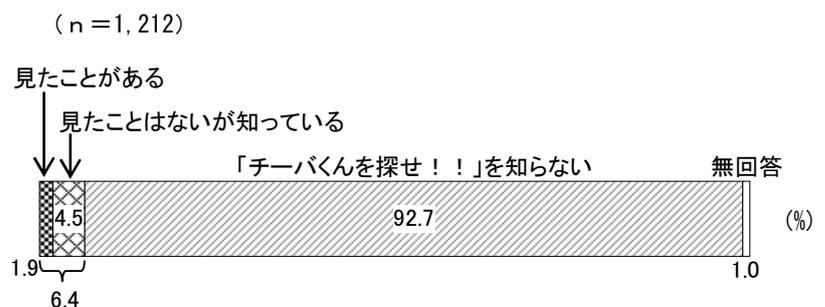
一方、「『ゆめみるチーバくん』を知らない」（86.3%）が8割台半ばで高くなっている。



### (5) インターネットドラマの視聴状況

インターネットドラマ「チーバくんを探せ！！」を見たことがあるか聞いたところ、「見たことがある」（1.9%）と「見たことはないが知っている」（4.5%）を合わせた『知っている（計）』（6.4%）が1割未満となっている。

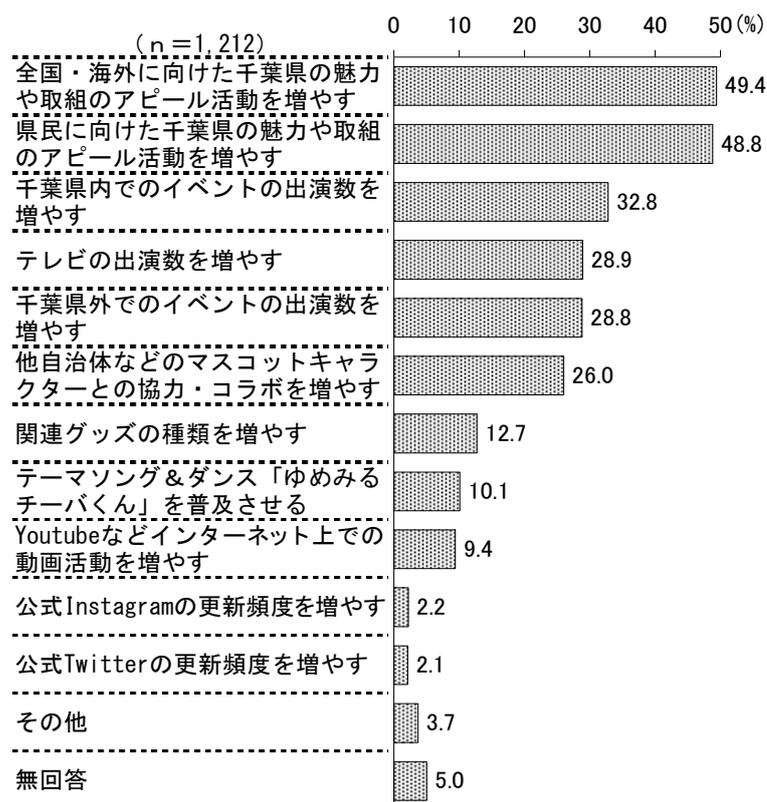
一方、「『チーバくんを探せ！！』を知らない」（92.7%）が9割を超えて高くなっている。



## (6) 今後の「チーバくん」の活動に求めること

(複数回答：いくつでも)

今後のチーバくんの活動に何を求めるか聞いたところ、「全国・海外に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす」(49.4%)と「県民に向けた千葉県の魅力や取組のアピール活動を増やす」(48.8%)が約5割で高く、以下、「千葉県内でのイベントの出演数を増やす」(32.8%)、「テレビの出演数を増やす」(28.9%)、「千葉県外でのイベントの出演数を増やす」(28.8%)、「他自治体などのマスコットキャラクターとの協力・コラボを増やす」(26.0%)、「関連グッズの種類を増やす」(12.7%)、「テーマソング&ダンス「ゆめみるチーバくん」を普及させる」(10.1%)、「Youtubeなどインターネット上での動画活動を増やす」(9.4%)、「公式Instagramの更新頻度を増やす」(2.2%)、「公式Twitterの更新頻度を増やす」(2.1%)、「その他」(3.7%)、「無回答」(5.0%)が続く。



## 《「千葉県マスコットキャラクター『チーバくん』について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、215人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

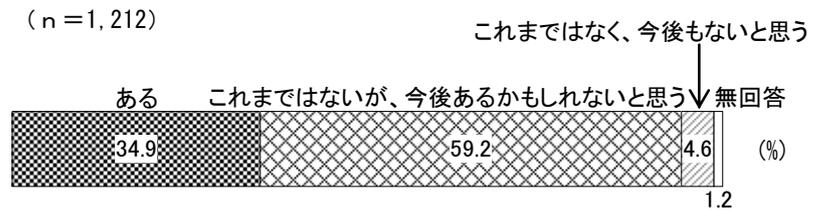
- チーバくんの部位で住んでいる地域を説明する千葉県の方が多いため、他県の方にもチーバくんのことを知ってほしい。  
(女性、20代、印旛地域)
- チーバくん自体の国内の知名度は高いと思う。しかしながら、チーバくんを通して伝えたい、発信したい内容はあまり届いていないと思う。今後は、メディアやイベントを通じて内容も発信していくべきだが、チーバくんを強く押して行くと、チーバくんという印象しかもたれないことを考慮したバランスが大事と思う。  
(男性、20代、東葛飾地域)
- 認知度は高いので、今後の活動の場として自治体と協力し地域福祉に一役買ってもらうことを期待します。  
(女性、30代、葛南地域)
- チーバくん、とてもかわいいです。子どもも大好きです。千葉というとテレビでは「うなりくん」をたくさん見るので、もっとチーバくんも目立ってほしいと思います。食品などのお土産で小分けにできるものを増やしてほしいです。  
(女性、40代、葛南地域)
- チーバくんはわかりやすく可愛くて千葉県のマスコットキャラクターにぴったりだと思います。各県で様々なマスコットキャラクターが活躍していますが今後も千葉県のイベントなどに地道に活動してもらい長くずっと「チーバくん」を使い続けていければ今よりもっと千葉県といえば「チーバくん」が定着すると思います。  
(女性、40代、東葛飾地域)
- ツイッターやインスタグラムをしていない人にも活動の様子がわかるようにしていただけたいと思います。  
(女性、40代、君津地域)
- チーバくんは子どもたちに人気なので、県内で行われる子ども向けのイベントに来る回数を増やしてほしいです。  
(女性、40代、東葛飾地域)
- 幼児から老人まで幅広く親しめる様な企画を今後共思考して行って欲しいと思います。チーバくん自身が、県民に対し何を一番知ってもらいたいのか等解り易く公共の場でうたえて欲しいと思います。  
(女性、65歳以上、夷隅地域)

## 2 救急安心電話相談について

### (1) 救急に関する判断に困った経験

救急に関する判断に困った経験があるか聞いたところ、「ある」(34.9%)が3割台半ばとなっている。

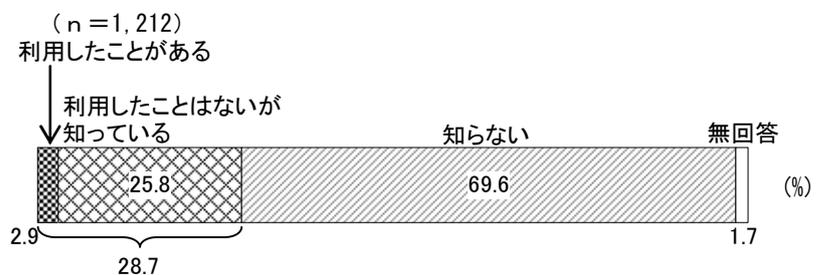
「これまではないが、今後あるかもしれないと思う」(59.2%)は約6割で、「これまではなく、今後もないと思う」(4.6%)はわずかである。



### (2) 「救急安心電話相談」の認知度

「救急安心電話相談 (#7009)」の認知度を聞いたところ、「利用したことがある」(2.9%)と「利用したことはないが知っている」(25.8%)を合わせた『知っている(計)』(28.7%)が約3割となっている。

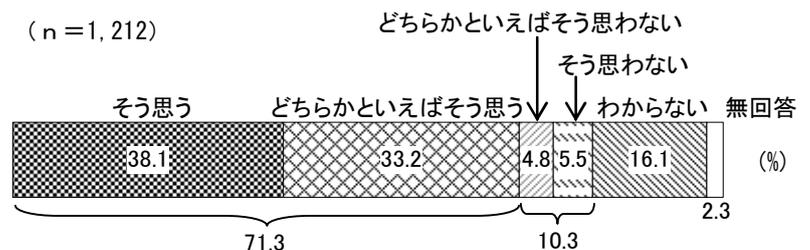
一方、「知らない」(69.6%)が約7割で高くなっている。



### (3) 「救急安心電話相談」の利用希望

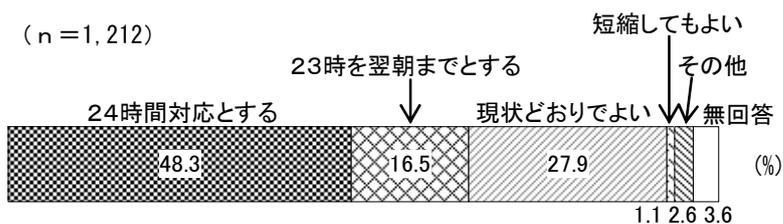
今後、「救急安心電話相談 (#7009)」を利用したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(38.1%)と「どちらかといえばそう思う」(33.2%)を合わせた『利用したい(計)』(71.3%)が7割を超えて高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(4.8%)と「そう思わない」(5.5%)を合わせた『利用したいと思わない(計)』(10.3%)が1割となっている。



#### (4) 「救急安心電話相談」の相談時間変更の必要性

現在の「救急安心電話相談（#7009）」の相談時間（平日・土曜18時～23時、日曜・祝日9時～23時）を変更する必要があると思うか聞いたところ、「24時間対応とする」（48.3%）が約5割で最も高く、以下、「現状どおりでよい」（27.9%）、「23時を翌朝までとする」（16.5%）が続く。



## 《「救急安心電話相談について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、227人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

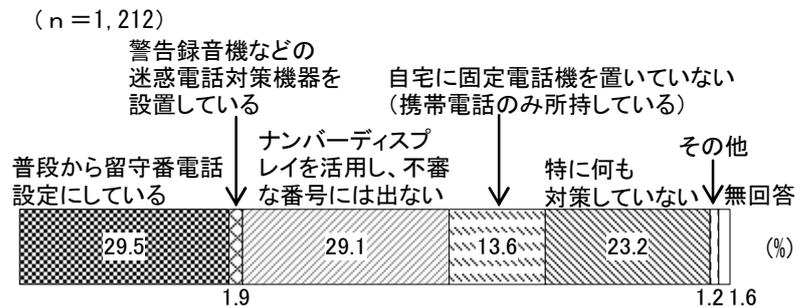
- こういうサービスがあることを知りませんでした。おそらくまだまだ認知度は低いと思います。本当に必要な人に適切に救急車が利用されるよう、学校や病院、自治体のイベント等で広げていく必要性を感じます。  
(女性、30代、葛南地域)
- 救急安心電話相談をもっとアピールするべきと思う。千葉県内に在る携帯電話ショップ窓口などに目立つよう置けないだろうか。  
(男性、30代、君津地域)
- 広報活動を行っていると思いますが、市民の目の届くところ、例えば駅や大型スーパーマーケットの掲示板、町会等にチラシで周知する。  
(男性、65歳以上、印旛地域)
- 冷蔵庫に貼れるマグネット式の広告や、千葉テレビの画面の下に出ていると、お年寄りがあわてていてもすぐに連絡ができると思います。  
(女性、40代、君津地域)
- トライアルで24時間対応にしてみてもよいかもしれないですね、深夜にどれだけ連絡が来るかわからないので。  
(男性、30代、東葛飾地域)
- 夜間など急に具合が悪くなる事もあるので、翌朝までだとありがたいと思う。  
(女性、30代、香取地域)
- 曜日によって「#7009」の時間が違うと覚えられない。24時間にしてほしい。  
(女性、65歳以上、東葛飾地域)
- 救急車の出動回数がたいへんな数になっていると聞きます。消防と電話相談の両者の意見交換はなされているのでしょうか。バラバラでは実情は変わらない気がします。  
(女性、65歳以上、東葛飾地域)
- 子どもの救急相談について、「#8000」との使いわけを知りたい。(男性、40代、千葉地域)
- 小さい子どもの急変も対応して頂けるならとても助かる。介護する側としても利用していきたい。  
(女性、50代、東葛飾地域)

### 3 電話d e 詐欺への対策について

#### (1) 自宅の電話機への対策

自宅の電話機にどのような対策をしているか聞いたところ、「普段から留守番電話設定にしている」(29.5%)と「ナンバーディスプレイ(掛けてきた相手の電話番号を表示する)を活用し、不審な番号には出ない」(29.1%)が約3割となっている。

「特に何も対策していない」(23.2%)は2割を超えており、「自宅に固定電話機を置いていない(携帯電話のみ所持している)」(13.6%)は1割台半ばとなっている。

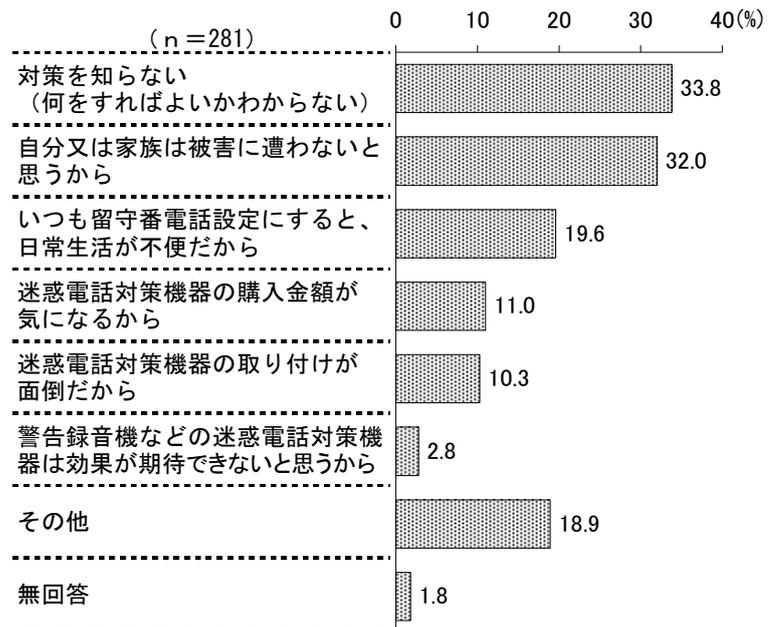


注) 図表中の「ナンバーディスプレイを活用し、不審な番号には出ない」の選択肢は、実際の質問では「ナンバーディスプレイ(掛けてきた相手の電話番号を表示する)を活用し、不審な番号には出ない」として質問したが、作図の便宜上、一部の文言を省略して示している。

#### (1-1) 自宅の電話機への対策をとっていない理由

(複数回答: いくつでも)

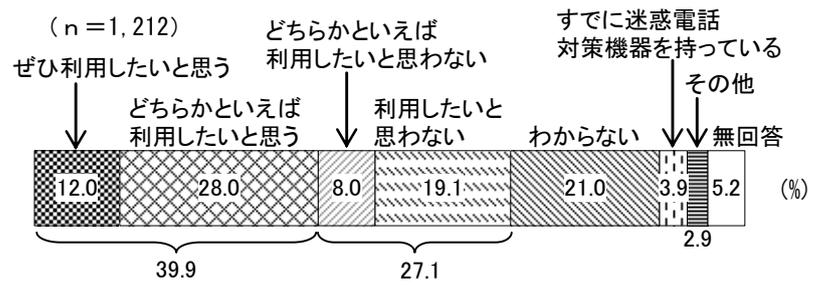
自宅の電話機への対策で「特に何も対策していない」と回答した281人を対象に、その理由を聞いたところ、「対策を知らない(何をすればよいかわからない)」(33.8%)が3割台半ばで最も高く、以下、「自分又は家族は被害に遭わないと思うから」(32.0%)、「いつも留守番電話設定にすると、日常生活が不便だから」(19.6%)、「迷惑電話対策機器の購入金額が気になるから」(11.0%)、「迷惑電話対策機器の取り付けが面倒だから」(10.3%)、「警告録音機などの迷惑電話対策機器は効果が期待できないと思うから」(2.8%)が続く。



## (2) 迷惑電話対策機器の利用希望

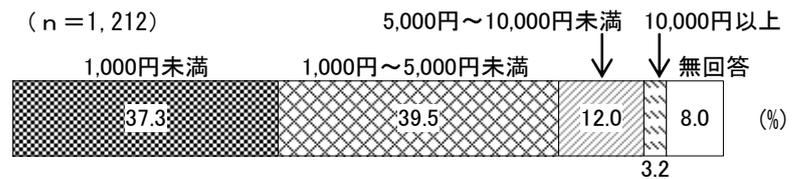
迷惑電話対策機器について、行政などによる貸し出しや購入への補助があれば、利用したいと思うか聞いたところ、「ぜひ利用したいと思う」(12.0%)と「どちらかといえば利用したいと思う」(28.0%)を合わせた『利用したい(計)』(39.9%)が約4割となっている。

一方、「どちらかといえば利用したいと思わない」(8.0%)と「利用したいと思わない」(19.1%)を合わせた『利用したいと思わない(計)』(27.1%)が約3割となっている。



## (3) 迷惑電話対策機器の費用負担希望

自宅の電話機への対策のために費用が必要な場合、いくらくらいまでなら費用を出そうと思うか聞いたところ、「1,000円～5,000円未満」(39.5%)と「1,000円未満」(37.3%)が約4割で高く、以下、「5,000円～10,000円未満」(12.0%)が続く。



## 《「電話d e 詐欺への対策について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、161人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

- 機能が複雑だと、対策機能付きの電話機でも使用しないおそれがあるので、可能な限り簡素で利用しやすいものがよいと思われる。（女性、40代、葛南地域）
- ナンバーディスプレイの月々の利用料をもっと安くしてほしい。（女性、50代、東葛飾地域）
- 固定電話も良いが、今は携帯電話の対策も必要。携帯電話の詐欺対策を強化してほしい。アプリや、留守電をオプションにしない、録音時間を長くするとか。（女性、30代、印旛地域）
- 現状留守電機能はほとんど使っていません。自宅が留守であることを教えるようなものだという考え方もあります。迷惑電話対応機器には何度か遭遇しましたが、「ほほえましい」という感はあるけど嫌な気にはなりません。テレビでも放映されていますが、これすら見たことがないという人もいます。どんな層にもどんな家庭にも周知できるような方策が必要かと思えます。（女性、65歳以上、東葛飾地域）
- ひとり暮らしの母は携帯電話のみで、我が家は女性のみなので、他の家より詐欺電話がかかってくる可能性は少ないと思いき、まだ何も対策はしていません。（女性、60～64歳、千葉地域）
- 1日に異なる電話番号へ多量に発信する電話について、1件でも被害報告があれば、その発信を交換機で規制するサービスを作ってほしい。（女性、50代、葛南地域）
- どうしてオレオレ詐欺等がますます増えているのか不思議でなりません。銀行のATMに何らかの工夫を考えた方が良いのではないですか。私も含め、高齢者をどうこうするのはなかなか大変だと思います。（女性、65歳以上、東葛飾地域）
- 被害が一向に変わらない現状を考えると、これまでの対策手段に加え、抜本的な別の方法が必要なのではないかと感じます。しかし、被害者の特徴や傾向がわかりませんので、そのあたりのデータを持っている方による新しいアイデアが望まれます。（男性、50代、葛南地域）
- 税金で購入の補助を出すのはどうかと思います。他のことへ使ってほしい。（女性、40代、千葉地域）

## 4 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて

### (1) 居住地における最近の犯罪発生状況

現在お住まいの地域における最近の犯罪の発生状況について、どう感じるか聞いたところ、「変わらない」(34.2%)が3割台半ばとなっている。

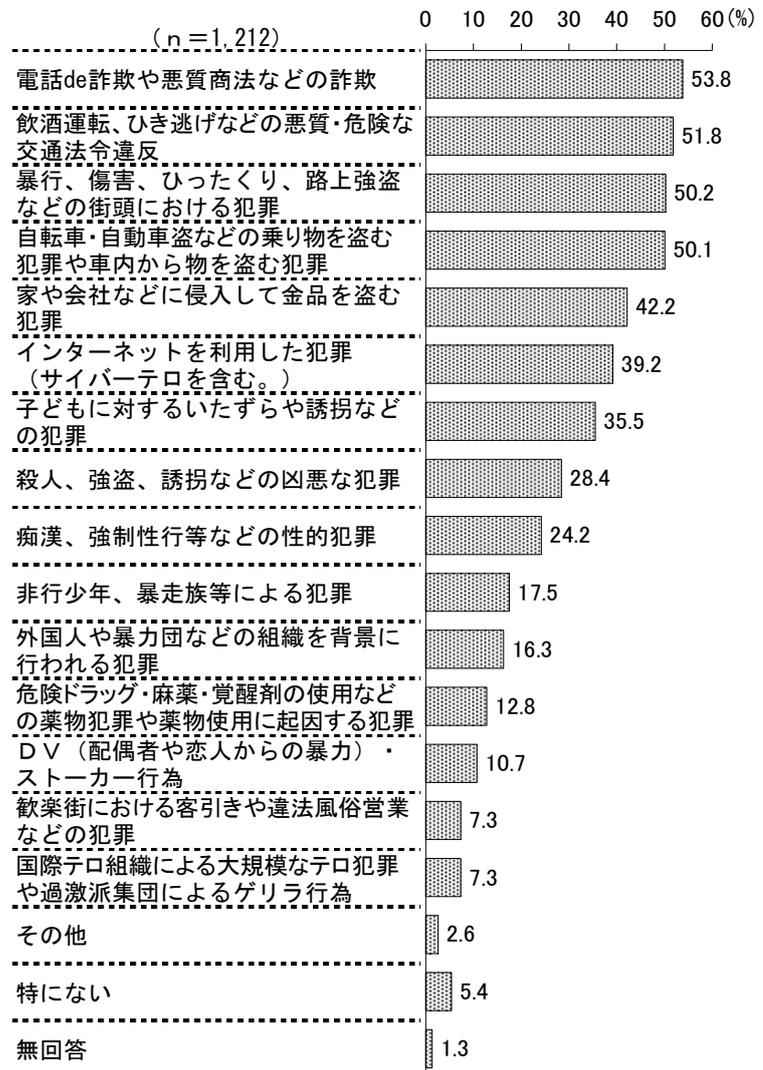
また、「非常に多くなったと感じる」(5.0%)と「多くなったと感じる」(27.8%)を合わせた『多くなったと感じる(計)』(32.8%)が3割を超えている。

一方、「少なくなったと感じる」(3.5%)と「非常に少なくなったと感じる」(0.3%)を合わせた『少なくなったと感じる(計)』(3.9%)はわずかである。



### (2) 身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪 (複数回答：いくつでも)

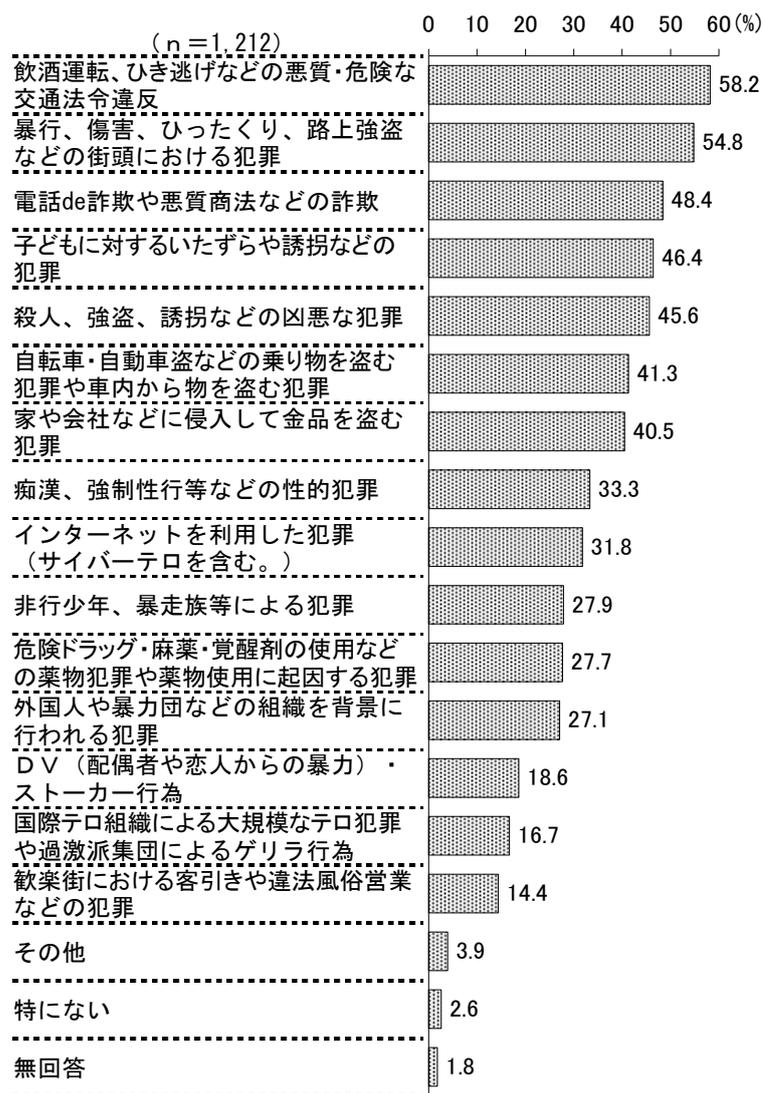
自身や身近な人が巻き込まれる危険性について、不安を感じている犯罪を聞いたところ、「電話de詐欺や悪質商法などの詐欺」(53.8%)が5割台半ばで最も高く、以下、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」(51.8%)、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」(50.2%)、「自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」(50.1%)が続く。



### (3) 警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪

(複数回答：いくつでも)

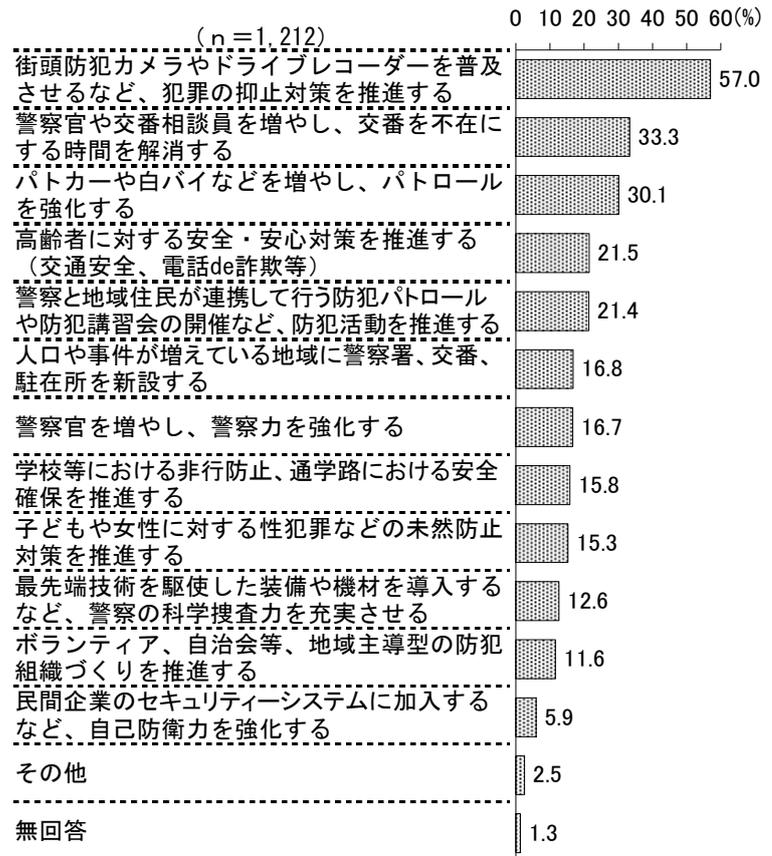
警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪を聞いたところ、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」(58.2%)が約6割で最も高く、以下、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」(54.8%)、「電話de詐欺や悪質商法などの詐欺」(48.4%)、「子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪」(46.4%)が続く。



(4) 安全で安心できる生活を守るために必要なこと

(複数回答：3つまで)

安全で安心できる生活を守っていくために、何が必要だと思うか聞いたところ、「街頭防犯カメラやドライブレコーダーを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」(57.0%)が約6割で最も高く、以下、「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」(33.3%)、「パトカーや白バイを増やし、パトロールを強化する」(30.1%)が続く。



## 《「県民の治安に対する意識と警察に求めることについて」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、171人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

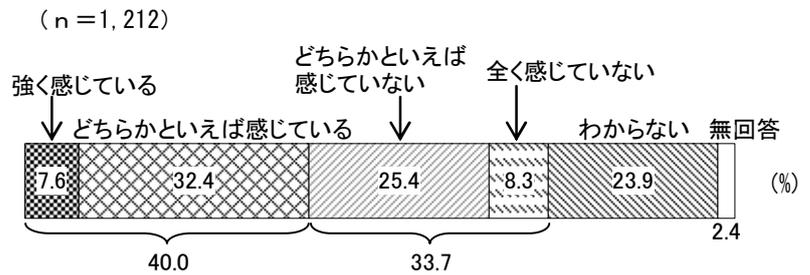
- 放置自転車（自転車盗）や信号無視、歩行者妨害、あおり運転、自転車の歩道危険通行といった違反や軽犯罪の取り締まりを強化して、結果として重大犯罪を抑止することが目指すべき警察活動です。（男性、40代、葛南地域）
  
- 退職者の再雇用を促進して、無人交番をなくしてほしい。（男性、65歳以上、印旛地域）
  
- 些細な事件事故が起きたらすぐに取り締まるようにしてほしいです。事件が起きたらパトロールも強化してほしいと思います。（女性、20代、葛南地域）
  
- 逃げ得を許したり、恫喝をする者が得をすることがないようにしてほしい。（男性、40代、印旛地域）
  
- 下校時間に移動交番があるので安心できると子どもが言っています。夕暮れ時にパトロールをもっと増やしていただけると心強いです。いつもありがとうございます。（女性、40代、葛南地域）
  
- 防犯カメラはかなりの抑止力になっていると思います。なおかつ明るい街灯を増やして下されば良いと思います。（女性、65歳以上、葛南地域）
  
- 警察官の方々は、ご多忙の中勤務をしていることとは思いますが、もう少し親しみやすく相談のしやすい方々であってほしいと思います。自治会活動をもう少し活発にし、治安対策の勉強会をときどき行い、住民も普段から声を掛け合うムード作りをしていく努力が必要だと思います。（女性、60～64歳、葛南地域）
  
- 夜間の稲毛駅西口方面は人通りが減るためひったくり等の被害もあると聞くので、パトロール強化を是非お願いしたい。空き巣も増えてきている。（男性、40代、千葉地域）
  
- 保育園や学校等のセキュリティ（警備員の配置、パトロール等）を強化する取り組みを是非行ってほしい。（男性、30代、葛南地域）

## 5 サイバー空間の安全対策について

### (1) サイバー攻撃への不安

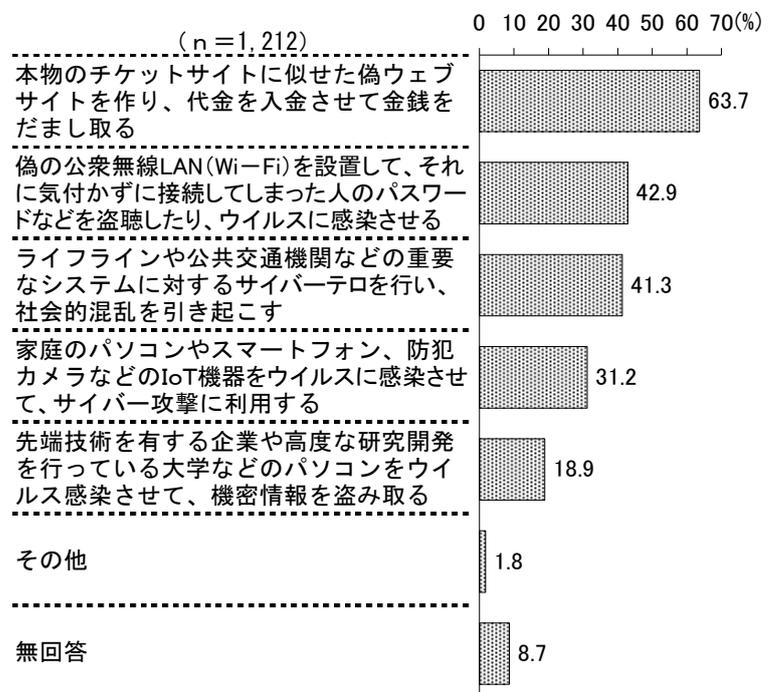
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に際して、競技会場がある千葉県で、サイバー攻撃が起こるのではないかと不安を感じるか聞いたところ、「強く感じている」(7.6%)と「どちらかといえば感じている」(32.4%)を合わせた『感じている(計)』(40.0%)が4割となっている。

一方、「どちらかといえば感じていない」(25.4%)と「全く感じていない」(8.3%)を合わせた『感じていない(計)』(33.7%)が3割台半ばとなっている。



### (2) 不安を感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃(複数回答:いくつでも)

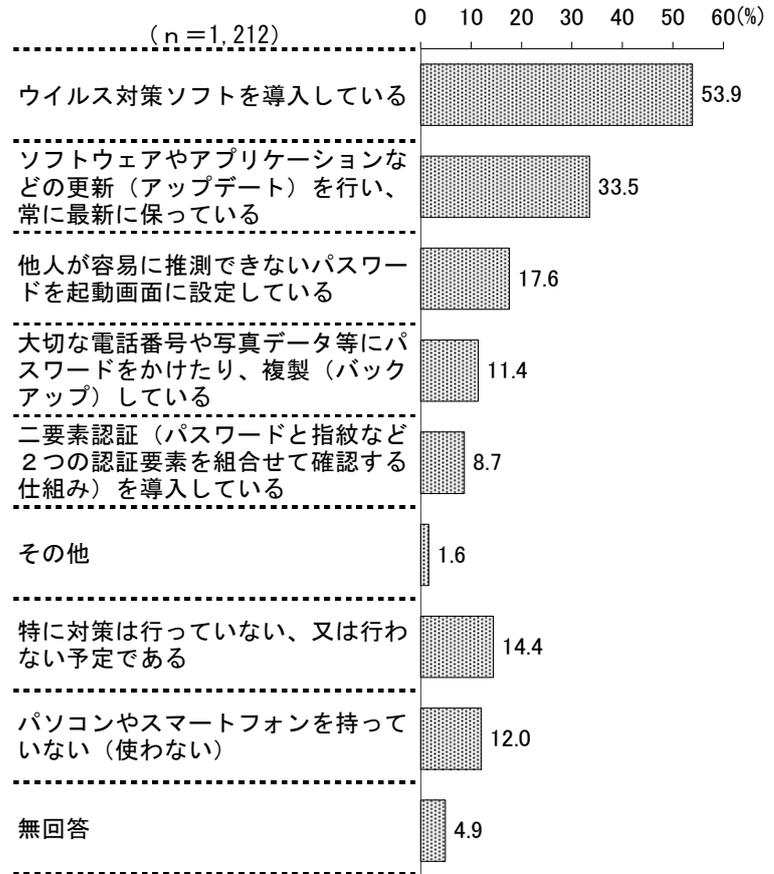
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて不安を感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃は何か聞いたところ、「本物のチケットサイトに似せた偽ウェブサイトを作り、代金を入金させて金銭をだまし取る」(63.7%)が6割台半ばで最も高く、以下、「偽の公衆無線LAN(Wi-Fi)を設置して、それに気付かずに接続してしまった人のパスワードなどを盗聴したり、ウイルスに感染させる」(42.9%)、「ライフラインや公共交通機関などの重要なシステムに対するサイバーテロを行い、社会的混乱を引き起こす」(41.3%)が続く。



### (3) サイバー攻撃への対策状況

(複数回答：いくつでも)

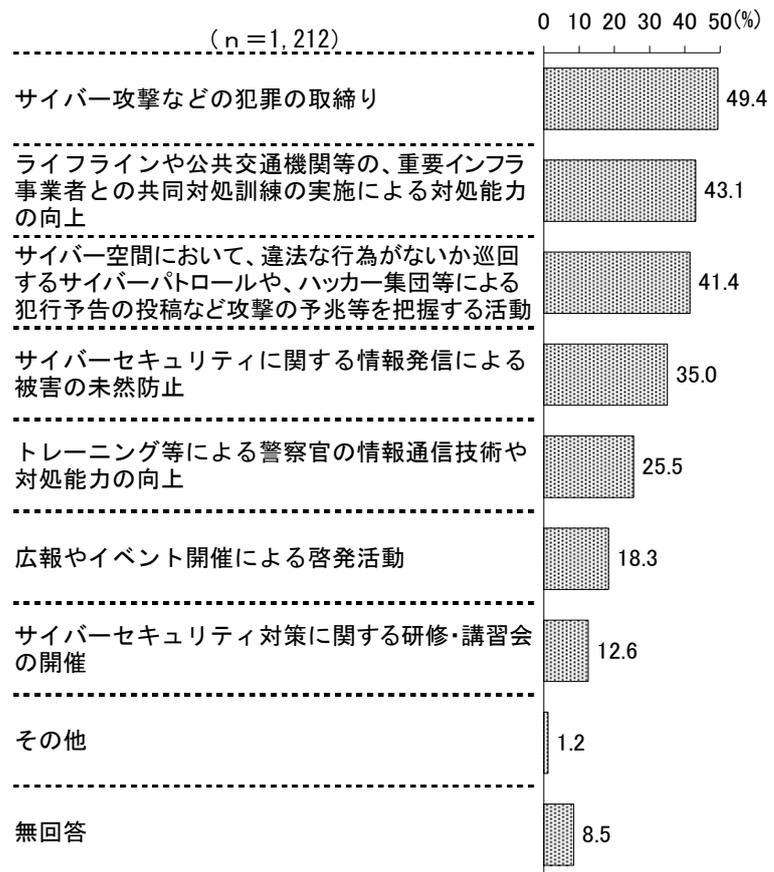
サイバー攻撃の被害を防ぐため、自分のパソコンやスマートフォンでどのような対策を行っている、又は行う予定か聞いたところ、「ウイルス対策ソフトを導入している」(53.9%)が5割台半ばで最も高く、以下、「ソフトウェアやアプリケーションなどの更新(アップデート)を行い、常に最新に保っている」(33.5%)、「他人が容易に推測できないパスワードを起動画面に設定している」(17.6%)が続く。



### (4) 警察に求めるサイバー攻撃対策

(複数回答：いくつでも)

警察に取り組んでほしいサイバー攻撃対策は何か聞いたところ、「サイバー攻撃などの犯罪の取締り」(49.4%)が約5割で最も高く、以下、「ライフラインや公共交通機関等の、重要インフラ事業者との共同対処訓練の実施による対処能力の向上」(43.1%)、「サイバー空間において、違法な行為がないか巡回するサイバーパトロールや、ハッカー集団等による犯行予告の投稿など攻撃の予兆等を把握する活動」(41.4%)が続く。



## 《「サイバー空間の安全対策について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、90人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

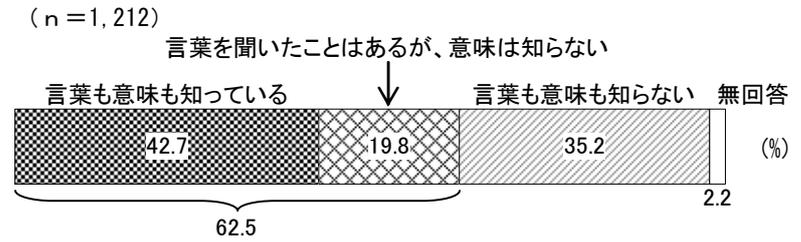
- 偽のチケットは絶対出回ると思うので対策を考えてほしい。 (女性、20代、葛南地域)
  
- 官民共同で対策にあたってほしい。民間の知恵も借りてサイバー犯罪に対応してほしいと思う。 (女性、40代、葛南地域)
  
- サイバー関係は知識がある人は得、知識がない人は損、とはっきり分かれる世界なので、対策はできるだけやっていきたいと思う。 (女性、30代、葛南地域)
  
- 東京2020では、私自身大会ボランティアにエントリーしていることもあり、テロ対策に無関心ではられません。ぜひ、県民一丸となって阻止につながる啓発活動に力を入れて頂きたいと思います。 (女性、50代、東葛飾地域)
  
- サイバー攻撃を他人ごとだと思っている人が多いと思うので、身近な犯罪であることを認識してもらい必要があると思う。 (女性、30代、東葛飾地域)
  
- 自分には全く知識がないので、国の方でしっかり対策を練って対応してほしい。スペシャリストに考えてもらい対応してもらいたい。 (女性、50代、東葛飾地域)
  
- パソコンを使っているが、得意ではないので、お手上げです。最低ここまではやるべき対策とやり方を、冊子などで教えてほしい。 (女性、50代、千葉地域)
  
- インターネットや身近にある存在が手軽にいつでも侵入しやすい状況を作りやすいのであるべくサイバーパトロールを行い未然に防ぐように努力して行えたらいいなあと思いました。 (女性、20代、東葛飾地域)
  
- サイバー攻撃にはキリがないので、出来るだけ素早い情報提供をしてください。 (男性、60～64歳、千葉地域)
  
- サイバー攻撃の具体的内容がわからないので、わかりやすく説明し広報や啓発活動をして欲しい。子供もスマホを持っているので学生にも。 (女性、40代、東葛飾地域)

## 6 ワーク・ライフ・バランスについて

### (1) 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」という言葉を知っているか聞いたところ、「言葉も意味も知っている」（42.7%）と「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（19.8%）を合わせた『聞いたことがある（計）』（62.5%）が6割を超えている。

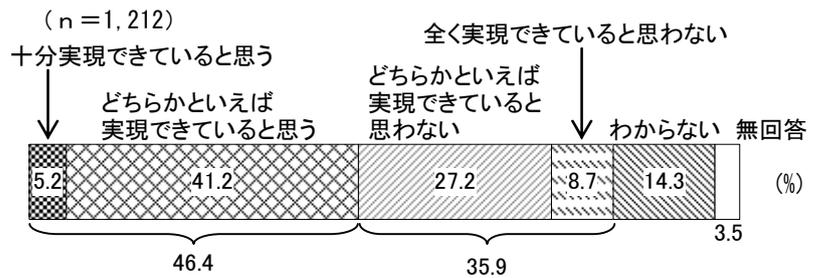
一方、「言葉も意味も知らない」（35.2%）は3割台半ばとなっている。



### (2) ワーク・ライフ・バランスの実現度

自身のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）は、どの程度実現されていると思うか聞いたところ、「十分実現できていると思う」（5.2%）と「どちらかといえば実現できていると思う」（41.2%）を合わせた『実現できている（計）』（46.4%）が4割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえば実現できていると思わない」（27.2%）と「全く実現できていると思わない」（8.7%）を合わせた『実現できていない（計）』（35.9%）が3割台半ばとなっている。

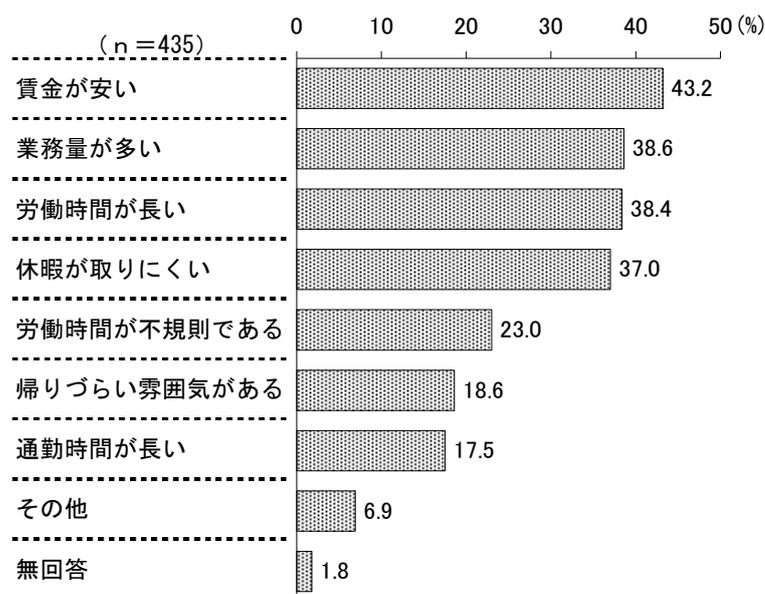


注) 現在、仕事をしていない方に対しては、家族などの身近な人を想定して回答していただいた。

## (2-1) 職場において支障となっている点

(複数回答：いくつでも)

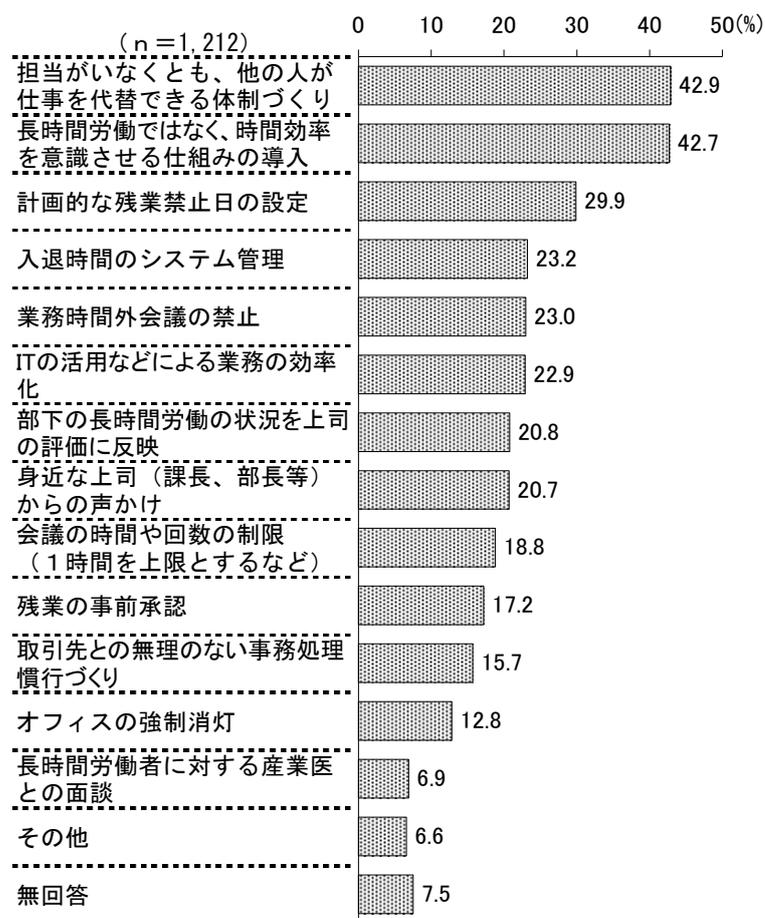
自身のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）が「どちらかといえば実現できていると思わない」または「全く実現できていると思わない」と回答した435人を対象に、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に当たり、職場において支障となっている点を聞いたところ、「賃金が安い」（43.2%）が4割を超えて最も高く、以下、「業務量が多い」（38.6%）、「労働時間が長い」（38.4%）、「休暇が取りにくい」（37.0%）が続く。



## (3) 長時間労働を是正するために重要と思う企業の取組

(複数回答：いくつでも)

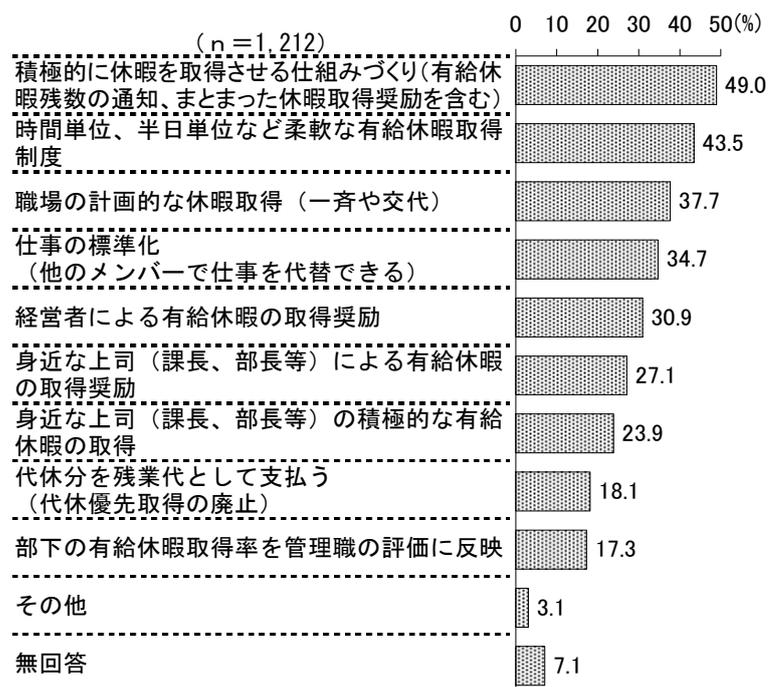
長時間労働を是正するための企業の取組について、何が重要だと思うか聞いたところ、「担当がいなくとも、他の人が仕事を代替できる体制づくり」（42.9%）と「長時間労働ではなく、時間効率を意識させる仕組みの導入」（42.7%）が4割を超えて高く、以下、「計画的な残業禁止日の設定」（29.9%）、「入退時間のシステム管理」（23.2%）、「業務時間外会議の禁止」（23.0%）が続く。



#### (4) 有給休暇の取得を促進するために重要と思う企業の取組

(複数回答：いくつでも)

有給休暇の取得を促進させるための企業の取組について、何が重要だと思うか聞いたところ、「積極的に休暇を取得させる仕組みづくり(有給休暇残数の通知、まとまった休暇取得奨励を含む)」「時間単位、半日単位など柔軟な有給休暇取得制度」(43.5%)、「職場の計画的な休暇取得(一斉や交代)」(37.7%)、「仕事の標準化(他のメンバーで仕事を代替できる)」(34.7%)が約5割で最も高く、以下、「時間単位、半日単位など柔軟な有給休暇取得制度」(43.5%)、「職場の計画的な休暇取得(一斉や交代)」(37.7%)、「仕事の標準化(他のメンバーで仕事を代替できる)」(34.7%)が続く。



## 《「ワーク・ライフ・バランスについて」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、125人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

○日本全国で慢性的な人手不足と言われている中、ワーク・ライフ・バランスを実現することは難しいとは思いますが、このままでは労働世代がただただ疲弊していくばかりです。国や県から、ある程度の強制力を持った施策を打って対策をとって行くのが、日本人には合っていると思います。この課題には優先して取り組んでほしいと思う。（男性、30代、葛南地域）

○ワーク・ライフ・バランスは企業、上司だけの協力ではなく、一人、一人の考え方を変える必要があると思います。私達の年代の教育は協調性を重んじられてきた様に感じます。もちろん皆で協力してやる事は大切だと思いますが、個人個人の考え方も、重要である事も子供の頃から教えるのも、将来のワーク・ライフ・バランスに必要なのではと感じます。（女性、40代、葛南地域）

○ワーク・ライフ・バランスについては、企業によって取り組みに差があり、どうしても大企業優位になっていることは否めない。経営者に対する啓発活動が必要であり、県として何かしらの指導が必要だと思う。（女性、50代、東葛飾地域）

○今後、社会で働く身としては、ワーク・ライフ・バランスは大切にしてほしいし、していきたいと思っています。県がどのような事を援助しているのかがよくわからないので知りたいです。（女性、20代、印旛地域）

○残業やダブルワークをしなくて済む賃金が確保できないのでは何も議論できない。ワーク・ライフ・バランスは個人の経済が安定しなくては、何も始まらない。（男性、40代、葛南地域）

○アルバイトに対して有休制度などをきちんと説明する機会があれば使おうと思います。また残業をするということは、その人への責任が重すぎるのではと考えます。仕事内容をもっと柔軟にできるようにすればストレスはなくなると思います。（女性、20代、葛南地域）

○有休を取りたいと言うと嫌な顔をされて取らせてもらえない。（女性、65歳以上、香取地域）

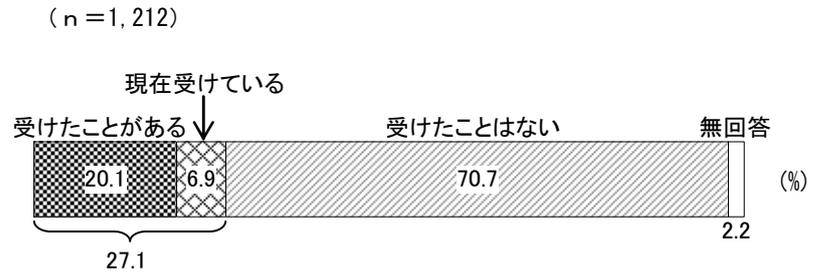
○ワーク・ライフ・バランスを実現するには中小企業だと人員が足りない。（男性、40代、葛南地域）

## 7 地域リハビリテーションについて

### (1) リハビリテーションを受けた経験

自身又は家族がリハビリテーションを受けた経験があるか聞いたところ、「受けたことがある」(20.1%)と「現在受けている」(6.9%)を合わせた『経験がある(計)』(27.1%)が約3割となっている。

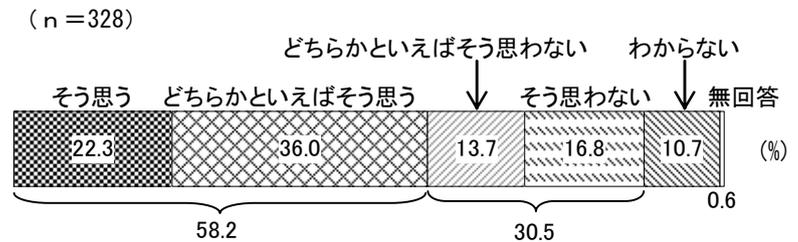
一方、「受けたことはない」(70.7%)が7割で高くなっている。



### (1-1) 適切なリハビリテーションが提供されたと思うか

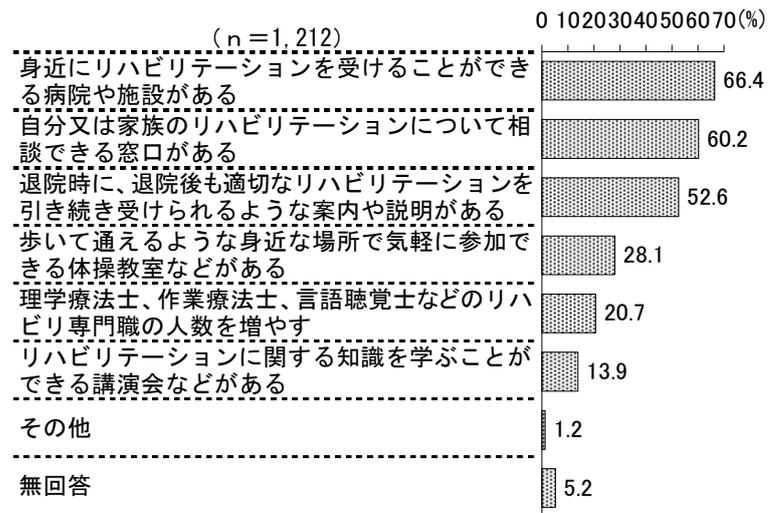
自身又は家族がリハビリテーションを「受けたことがある」または「現在受けている」と回答した328人を対象に、地域での介護予防から入院中・退院後の生活まで、それぞれの段階で途切れのない適切なリハビリテーションが提供された、又は提供されていると思うか聞いたところ、「そう思う」(22.3%)と「どちらかといえばそう思う」(36.0%)を合わせた『そう思う(計)』(58.2%)が約6割と高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(13.7%)と「そう思わない」(16.8%)を合わせた『そう思わない(計)』(30.5%)が3割となっている。



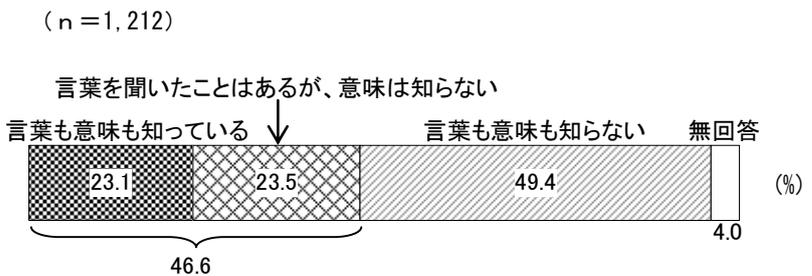
## (2) 適切なリハビリテーションが提供されるために重要だと思うこと(複数回答:いくつでも)

適切なリハビリテーションが提供されるためには、どのようなことが重要だと思うか聞いたところ、「身近にリハビリテーションを受けることができる病院や施設がある」(66.4%)が6割台半ばで最も高く、以下、「自分又は家族のリハビリテーションについて相談できる窓口がある」(60.2%)、「退院時に、退院後も適切なリハビリテーションを引き続き受けられるような案内や説明がある」(52.6%)が続く。



## (3) 「地域リハビリテーション」という言葉の認知度

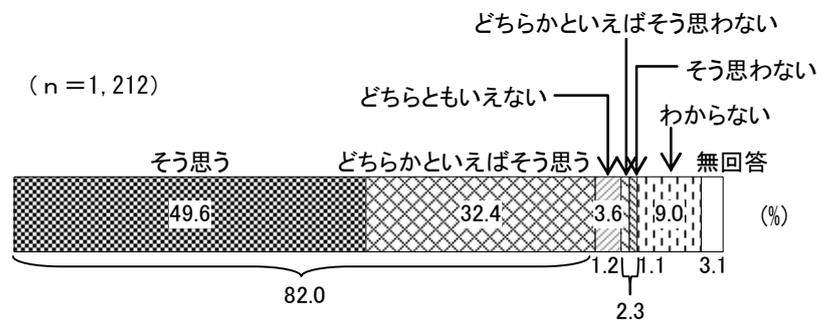
「地域リハビリテーション」という言葉を知っているか聞いたところ、「言葉も意味も知っている」(23.1%)と「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(23.5%)を合わせた『知っている(計)』(46.6%)が4割台半ばとなっている。



一方、「言葉も意味も知らない」(49.4%)は約5割となっている。

## (4) 「地域リハビリテーション」推進の必要性

「地域リハビリテーション」の推進は必要だと思うか聞いたところ、「そう思う」(49.6%)と「どちらかといえばそう思う」(32.4%)を合わせた『そう思う(計)』(82.0%)が8割を超えて高くなっている。



一方、「どちらかといえばそう思わない」(1.2%)と「そう思わない」(1.1%)を合わせた『そう思わない(計)』(2.3%)はわずかである。

## 《「地域リハビリテーションについて」の自由回答（抜粋）》

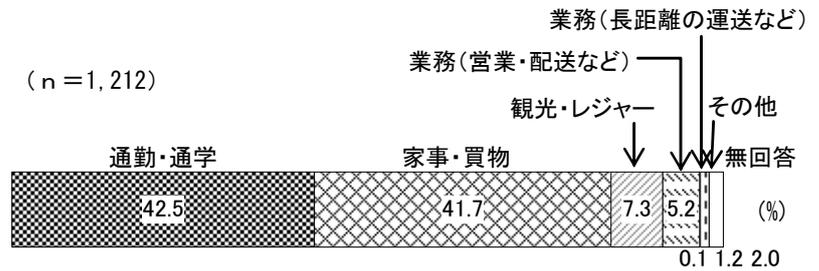
ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、90人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

- 理学療法士です。今は地域住民同士の交流や連携などが希薄ですので、そういった部分からだ  
と思います。昭和の古きよき時代のように、お互いがお互いを知っているような関係づくりが  
地域に必要なだと思います。 (男性、40代、葛南地域)
- 良い病院に人が集中しすぎてリハビリをしたくてもできず、遠い所まで行かなくては良いリハ  
ビリを受けることさえもできませんでした。今は車があるので大丈夫ですが、もう少し年齢が  
いきましたら頼れる良い病院がないことに気がつきました。 (女性、50代、東葛飾地域)
- 次に進む時に気軽に相談ができることは良いこと。誰でもすべてがわかるわけではないので、  
利用者に声をかけてもらいたい。わからない事だらけなのだから。(女性、50代、千葉地域)
- 必要な方の自主的参加は難しいと考える。民生委員や行政が参加できるようなサポートがまず  
必要なのでは。 (男性、65歳以上、山武地域)
- この高齢化時代では、高齢者といえども必要性を感じたら、自分から積極的にスポーツクラブ  
に行くとか動くべきである。行政からしてもらおうとばかり考えるべきではない。  
(女性、65歳以上、千葉地域)
- 病院→施設→家庭と切れ目のないリハビリテーションが受けられる連携システムがほしい。  
高齢者、障害者が一つの窓口で相談に行けば、必要な支援が受けられる仕組みがほしい。  
(女性、65歳以上、東葛飾地域)
- 地域リハビリテーションを利用する人には十分に利用してもらいたいが、その周りの人の考え  
方も大事だと思う。障害を持っている人や高齢者への理解をする機会が一般の人にもあれば、  
さらに住みやすくなるのではないかと思う。 (女性、20代、葛南地域)
- 自動車がないと移動できない地域などでも地域リハビリテーションを進めるために、市や県が  
病院への移動手段として送迎を行っては頂けないでしょうか。 (男性、30代、君津地域)
- 今は、自分に必要ではないものですが、いざ必要となった時に気軽に相談できる窓口があると  
心強いと思いました。 (女性、30代、東葛飾地域)
- 子供達が正しい認識を持つことが両親・祖父母への促しや理解につながり、子供達が大きくな  
った時に上手く活用できるのでは。 (男性、30代、東葛飾地域)

## 8 道路整備について

### (1) 主な道路の利用目的

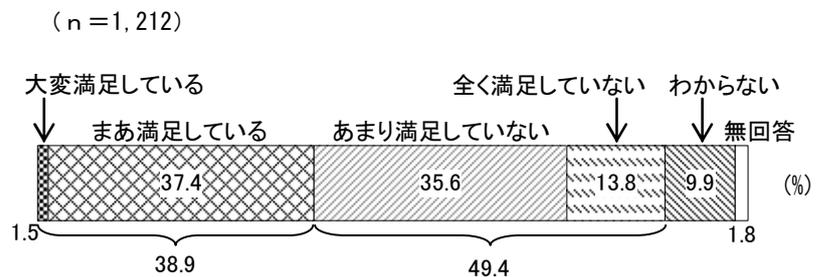
普段の生活の中でどのような目的で「道路」を利用することが多いか聞いたところ、「通勤・通学」(42.5%)と「家事・買物」(41.7%)が4割を超えて高く、以下、「観光・レジャー」(7.3%)、「業務(営業・配送など)」(5.2%)が続く。



### (2) 県内の道路状況の満足度

千葉県内の道路状況について満足しているか聞いたところ、「大変満足している」(1.5%)と「まあ満足している」(37.4%)を合わせた『満足している(計)』(38.9%)が約4割となっている。

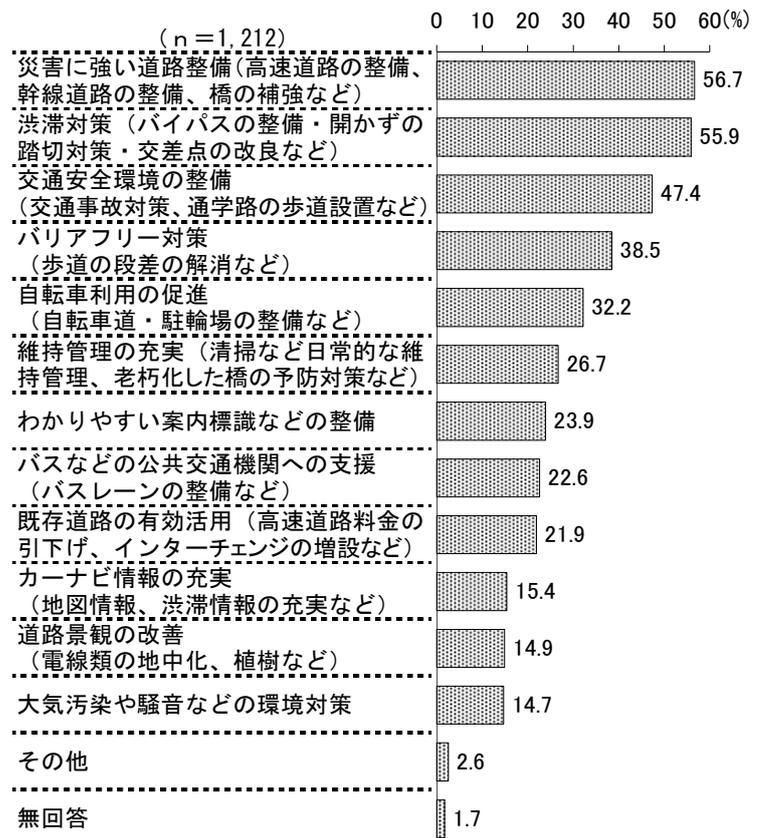
一方、「あまり満足していない」(35.6%)と「全く満足していない」(13.8%)を合わせた『不満である(計)』(49.4%)が約5割となっている。



### (3) 道路整備をしていく上での優先課題

(複数回答：いくつでも)

今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何か聞いたところ、「災害に強い道路整備(高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など)」「渋滞対策(バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など)」「交通安全環境の整備(交通事故対策、通学路の歩道設置など)」「バリアフリー対策(歩道の段差の解消など)」「自転車利用の促進(自転車道・駐輪場の整備など)」「維持管理の充実(清掃など日常的な維持管理、老朽化した橋の予防対策など)」(56.7%)と「渋滞対策(バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など)」(55.9%)が5割台半ばで高く、以下、「交通安全環境の整備(交通事故対策、通学路の歩道設置など)」(47.4%)、「バリアフリー対策(歩道の段差の解消など)」(38.5%)が続く。



## 《「道路整備について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、180人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

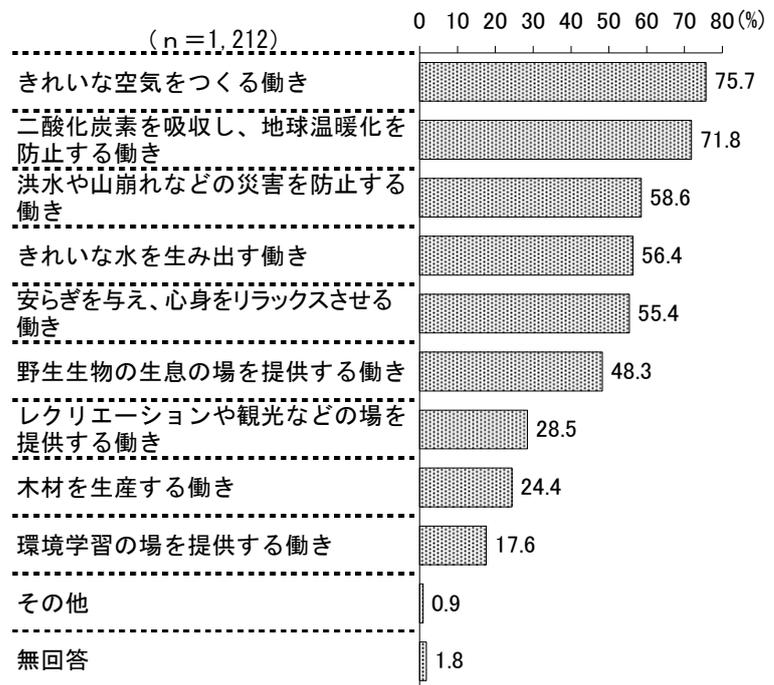
- 車の自動化に向けた道路整備を準備していくべきなのかと思います。人口の減少で車社会も変化していくのでしょから。  
(男性、50代、山武地域)
- 面積の広い千葉県ではどれだけ速く移動できるかで県南の活用方法が変わってくると思います。なので、渋滞や高速移動に対しての対策をしていただければと思います。  
(男性、30代、東葛飾地域)
- かなり傷んでいる道がある。自転車と車の距離が近くこわい所もある。(男性、50代、安房地域)
- 外環道松戸・市川間、とても便利になりました。  
(女性、50代、東葛飾地域)
- 右折専用レーンと信号がない交差点が多く、渋滞の原因であり走行しづらいので、右折専用レーンと信号の確保が急務。京成電鉄・新京成線の踏切も交通渋滞の原因であり、早期の高架化または地下化が必要。  
(男性、50代、葛南地域)
- 道路の路面標示が消えている所がたくさんあります。  
(女性、65歳以上、長生地域)
- 歩道と車道の段差を解消するプレートを路肩に置いている家があるが、自転車に乗っているとプレートを避けて車とぶつかりそうになったり、つまずきそうになったり危ないので、場所によっては禁止にしてほしい。  
(女性、40代、印旛地域)
- 外環道の市川・松戸間について、住所や所在地の名を書いた標識が少なく、どこを走っているのかわかりにくい。特に白地に黒で書いた標識は、歩行者にはよく見えても、走っている車からは見落としがちなので、大きな看板、大きな文字で標示してほしい。どこで曲がればよいかわかりにくい。これはほかの人からもよく聞きました。  
(女性、60～64歳、葛南地域)
- 今住んでいる地域は、車を運転している立場から見て自転車利用者が多い上、道幅が狭く路面も凸凹しているので、通行人が道路に飛び出してくる事が多く危険を感じます。道幅が狭く、見通しの悪い道路も多いです。渋滞緩和、歩道の整備、ミラーの設置を希望します。  
(女性、30代、葛南地域)

## 9 森林の働きや利用について

### (1) 森林に期待する働き

(複数回答：いくつでも)

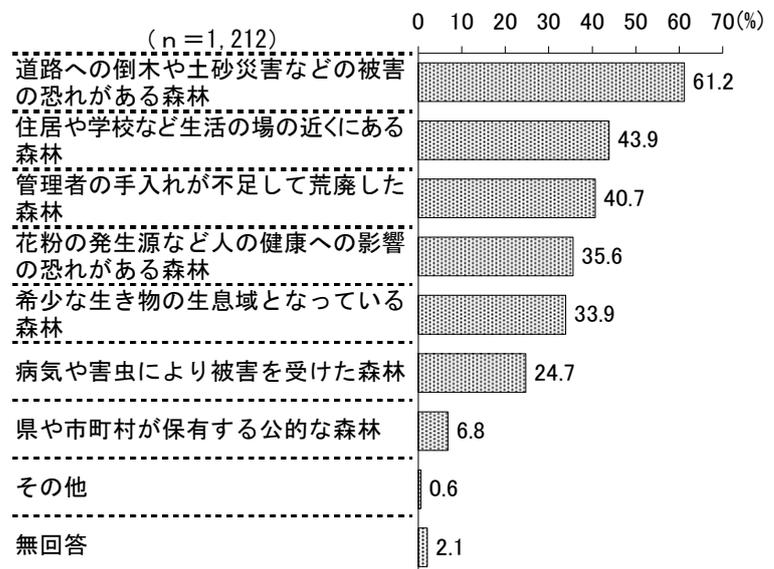
森林に対して主にどのような働きを期待するか聞いたところ、「きれいな空気をつくる働き」(75.7%)が7割台半ばで最も高く、以下、「二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き」(71.8%)、「洪水や山崩れなどの災害を防止する働き」(58.6%)、「きれいな水を生み出す働き」(56.4%)、「安らぎを与え、心身をリラックスさせる働き」(55.4%)、「野生生物の生息の場を提供する働き」(48.3%)、「レクリエーションや観光などの場を提供する働き」(28.5%)、「木材を生産する働き」(24.4%)、「環境学習の場を提供する働き」(17.6%)、「その他」(0.9%)、「無回答」(1.8%)が続く。



### (2) 優先して整備して欲しい森林

(複数回答：3つまで)

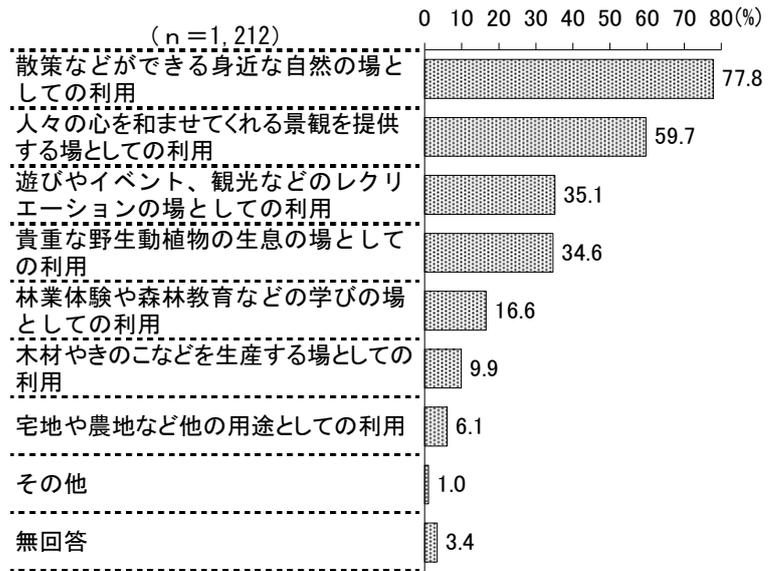
どのような森林を優先して整備して欲しいか聞いたところ、「道路への倒木や土砂災害などの被害の恐れがある森林」(61.2%)が6割を超えて最も高く、以下、「住居や学校など生活の場の近くにある森林」(43.9%)、「管理者の手入れが不足して荒廃した森林」(40.7%)、「花粉の発生源など人の健康への影響の恐れがある森林」(35.6%)、「希少な生き物の生息域となっている森林」(33.9%)、「病気や害虫により被害を受けた森林」(24.7%)、「県や市町村が保有する公的な森林」(6.8%)、「その他」(0.6%)、「無回答」(2.1%)が続く。



### (3) 身近な森林について期待する利用方法

(複数回答：いくつでも)

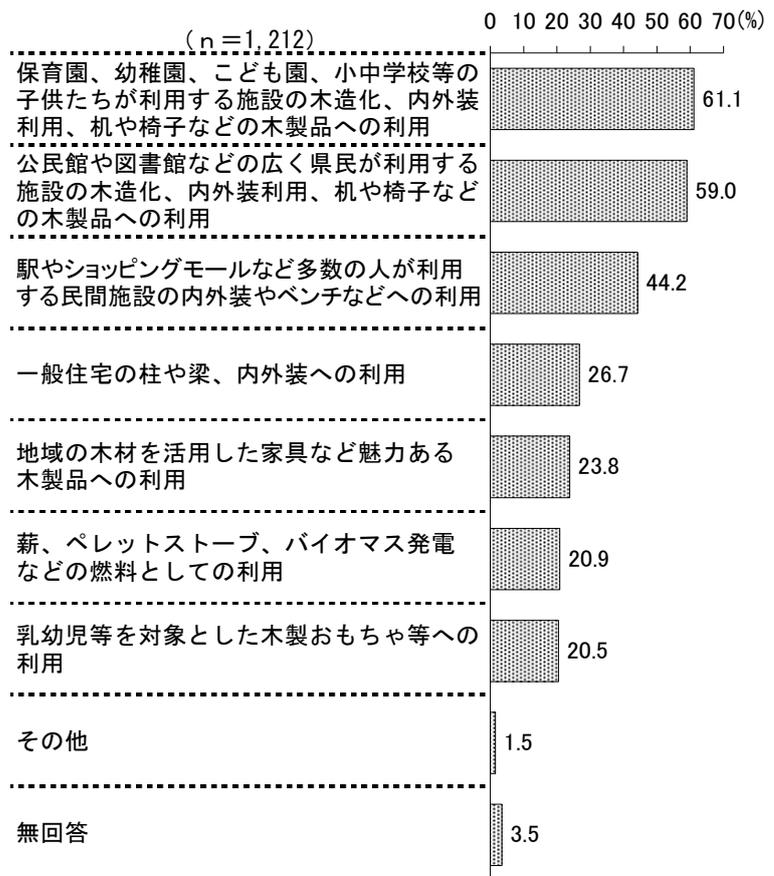
生活の場の近くにある身近な森林について、どのように利用されることを期待するか聞いたところ、「散策などができる身近な自然の場としての利用」(77.8%)が約8割で最も高く、以下、「人々の心を和ませてくれる景観を提供する場としての利用」(59.7%)、「遊びやイベント、観光などのレクリエーションの場としての利用」(35.1%)、「貴重な野生動物の生息の場としての利用」(34.6%)が続く。



### (4) 県内で生産される木材に期待する利用方法

(複数回答：いくつでも)

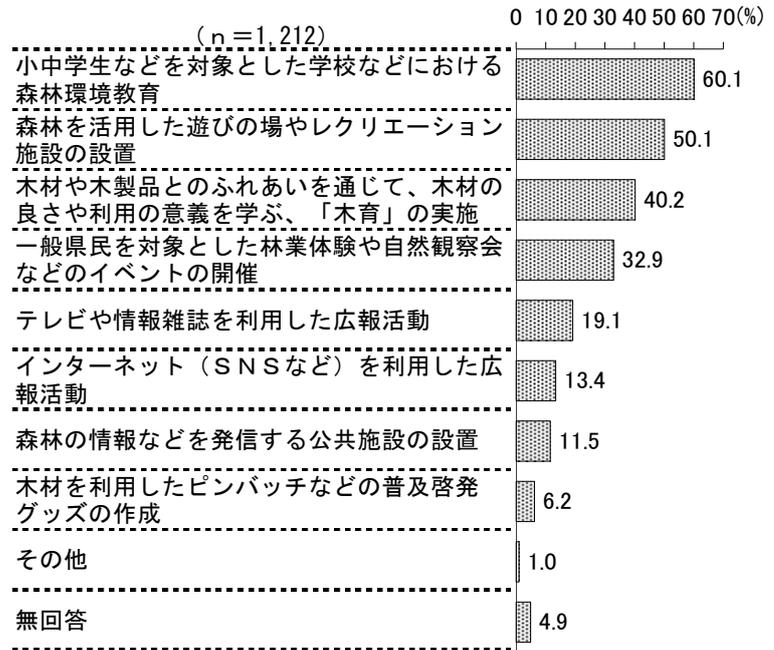
県内で生産される木材について、どのように利用されることを期待するか聞いたところ、「保育園、幼稚園、こども園、小中学校等の子供たちが利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」(61.1%)が6割を超えて最も高く、以下、「公民館や図書館などの広く県民が利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」(59.0%)、「駅やショッピングモールなど多数の人が利用する民間施設の内外装やベンチなどへの利用」(44.2%)、「一般住宅の柱や梁、内外装への利用」(26.7%)が続く。



(5) 森林整備等を促進する普及啓発の効果的な取組

(複数回答：いくつでも)

森林整備や木材利用などを促進する普及啓発について、どのような取組が効果的か聞いたところ、「小中学生などを対象とした学校などにおける森林環境教育」(60.1%)が6割で最も高く、以下、「森林を活用した遊びの場やレクリエーション施設の設置」(50.1%)、「木材や木製品とのふれあいを通じて、木材の良さや利用の意義を学ぶ、『木育』の実施」(40.2%)、「一般県民を対象とした林業体験や自然観察会などのイベントの開催」(32.9%)が続く。



## 《「森林の働きや利用について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、60人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

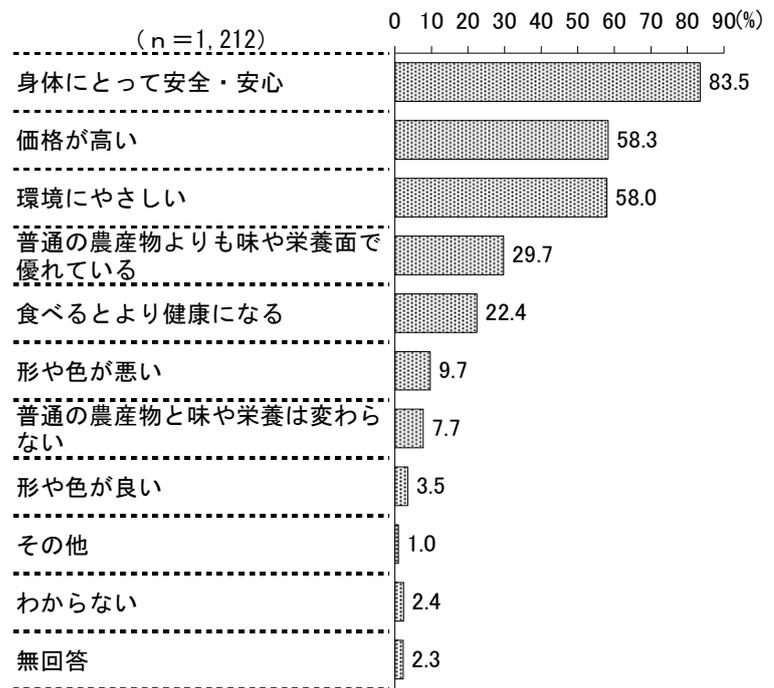
- 森林は大事なので出来るかぎり自然のままに、しかし人間に災害のある時はしっかりと整備して、生きもの達と共存していきたい。  
(女性、30代、千葉地域)
- 開発で生き物の生息地域が減っているところもあるようなので、共存できることが大切だと思う。  
(女性、50代、山武地域)
- 森林の働きを考える時、地球温暖化は切り離せない問題かと思います。気候変動によって及ぼす災害を予防しなければなりません。  
(男性、50代、山武地域)
- 「木育」については子どもの発育、発達に影響があるとのことですので、木製のおもちゃの普及を望みます。県から、出産時のお祝いに千葉県材木で作ったおもちゃのプレゼントをあげる、というのはいかがでしょうか。  
(女性、50代、東葛飾地域)
- 森林は千葉県大切な資源だと思うので、増やす、育てる、活かすを実践してくれたら嬉しいです。  
(男性、30代、東葛飾地域)
- 木の良さは分かっているが、結局活用するにはコストがかかりすぎるので使用できない。もっと低料金になれば、もっと活用されると思う。  
(女性、50代、東葛飾地域)
- ボランティアを募集して森林整備をしたら良いと思います。また、ハイキングなどをできるようにしたら良いと思います。  
(女性、60～64歳、君津地域)
- 伝統工芸や木工品、若手作家等の育成支援やベンチャー起業支援。(女性、50代、葛南地域)
- 人口減少に伴い、管理者不在の森林や、荒廃した森林が増えていくのではないかとの懸念がありますが、その中でも森林の整備や有効利用を管理者、所有者と話し合いながら、自治体とともに進めていくことが必要かと思います。  
(女性、60～64歳、葛南地域)
- 休息できるスペースや、緑を感じられるように整備してもらいたい。(女性、40代、葛南地域)

## 10 有機農業について

### (1) 有機農産物に対するイメージ

(複数回答：いくつでも)

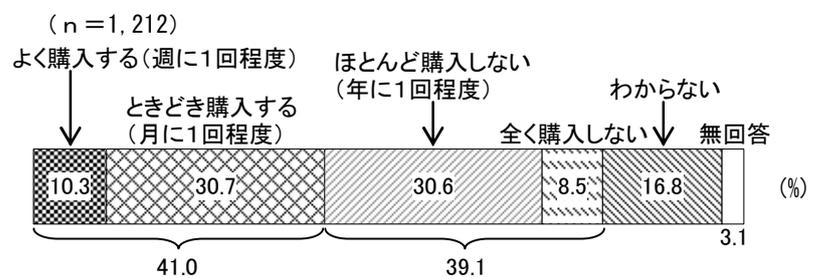
有機農産物に対するイメージを聞いたところ、「身体にとって安全・安心」(83.5%)が8割台半ばで最も高く、以下、「価格が高い」(58.3%)、「環境にやさしい」(58.0%)、「普通の農産物よりも味や栄養面で優れている」(29.7%)、「食べるとより健康になる」(22.4%)が続く。



### (2) 有機農産物購入頻度

どのくらいの頻度で有機農産物を購入しているか聞いたところ、「よく購入する(週に1回程度)」(10.3%)と「ときどき購入する(月に1回程度)」(30.7%)を合わせた『購入する(計)』(41.0%)が4割を超えている。

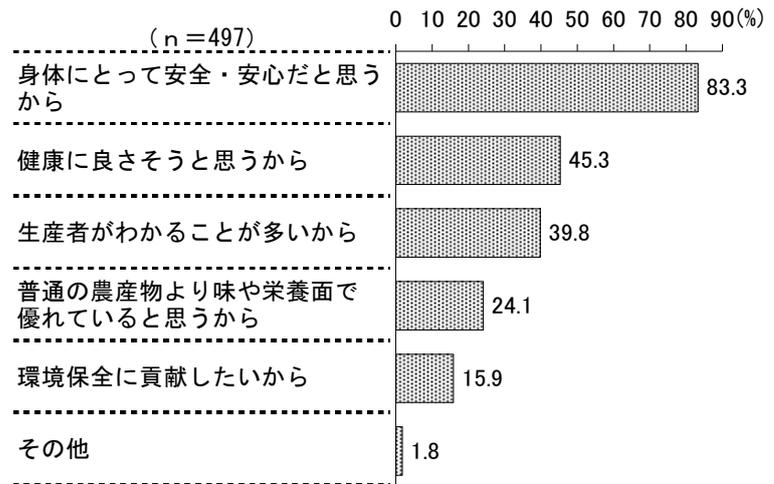
一方、「ほとんど購入しない(年に1回程度)」(30.6%)と「全く購入しない」(8.5%)を合わせた『購入しない(計)』(39.1%)が約4割となっている。



## (2-1) 有機農産物購入理由

(複数回答：いくつでも)

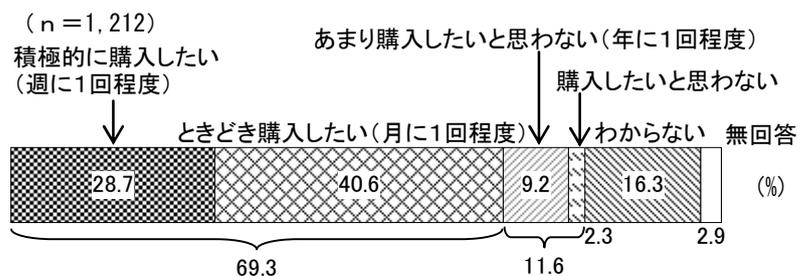
有機農産物を「よく購入する（週に1回程度）」または「ときどき購入する（月に1回程度）」と回答した497人を対象に、その理由を聞いたところ、「身体にとって安全・安心だと思うから」（83.3%）が8割を超えて最も高く、以下、「健康に良さそうと思うから」（45.3%）、「生産者がわかることが多いから」（39.8%）、「普通の農産物より味や栄養面で優れていると思うから」（24.1%）が続く。



## (3) 有機農産物の今後の購入意向

今後、有機農産物を購入したいか聞いたところ、「積極的に購入したい（週に1回程度）」（28.7%）と「ときどき購入したい（月に1回程度）」（40.6%）を合わせた『購入したい（計）』（69.3%）が約7割で高くなっている。

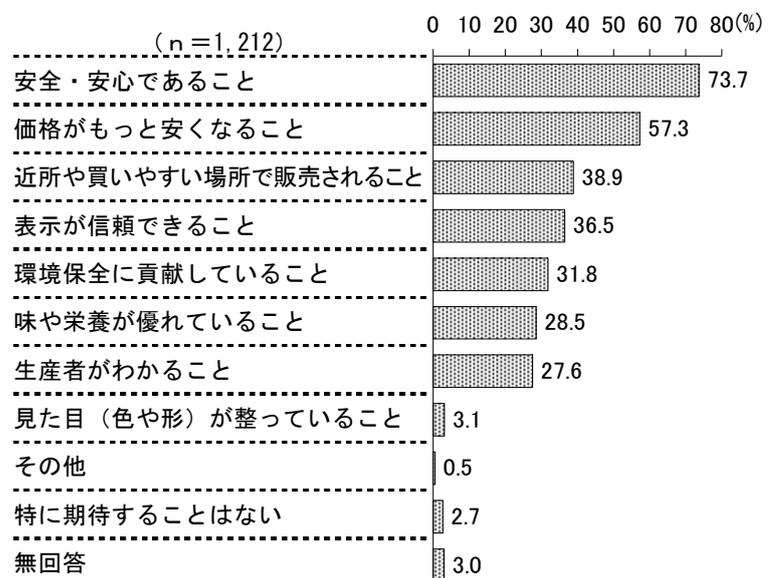
一方、「あまり購入したいと思わない（年に1回程度）」（9.2%）と「購入したいと思わない」（2.3%）を合わせた『購入したくない（計）』（11.6%）が1割を超えている。



## (4) 有機農産物に今後期待すること

(複数回答：いくつでも)

今後、有機農産物について何を期待するか聞いたところ、「安全・安心であること」（73.7%）が7割台半ばで最も高く、以下、「価格がもっと安くなること」（57.3%）、「近所や買いやすい場所で販売されること」（38.9%）、「表示が信頼できること」（36.5%）が続く。



## 《「有機農業について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、90人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

○環境にも良く安心安全な有機農業はもっと世の中に広めてほしいです。いろいろな形でもっと宣伝してたくさんの人に理解してもらい、たくさんのお店で買いやすい価格で販売してほしいと思います。学校のイベントや町会の回覧を利用して良いかもしれません。  
(女性、50代、東葛飾地域)

○安心して食べられる分、値段が高いことがネックだなと思います。しかし、もう少しPR活動して良さを広めることができれば、買う人も増えると思います。  
(女性、20代、葛南地域)

○有機野菜＝高価な野菜のイメージが強く、購売意欲が下がる。高価であるマイナスイメージより、環境に対するプラスなイメージがもてるような宣伝も必要だと思う。  
(女性、30代、葛南地域)

○身体、環境に良いのは判るが、価格が高く気軽に毎日買う事が出来ない。価格がもっと安くなれば毎日の食事に取り入れる事が出来ると思う。  
(女性、50代、葛南地域)

○生産者の方にはがんばってもらいたい。価格が安くなることも大切だけど、つくる人を支えるのも消費者の役割だと思っています。  
(女性、40代、東葛飾地域)

○有機野菜等は、生産する人には大変なのに、収入の増加につながらないのは気の毒。生産する人が希望を持って有機農業に取り組めるような支援体制があるといい。  
(男性、65歳以上、千葉地域)

○有機農業を実践している所が近くにはない。また、販売している所もないので、普及させる努力はしないといけないのではと思う。  
(女性、65歳以上、千葉地域)

○生協を通じて有機農法による農産物を手に入れることができるが、もっと気軽に有機農産物を購入できる店が地域にあるといいと思います。  
(女性、60～64歳、葛南地域)

○県内野菜の地産地消を意識して購入している。生産者の顔が見える農作物であれば安心できる。  
(男性、20代、千葉地域)

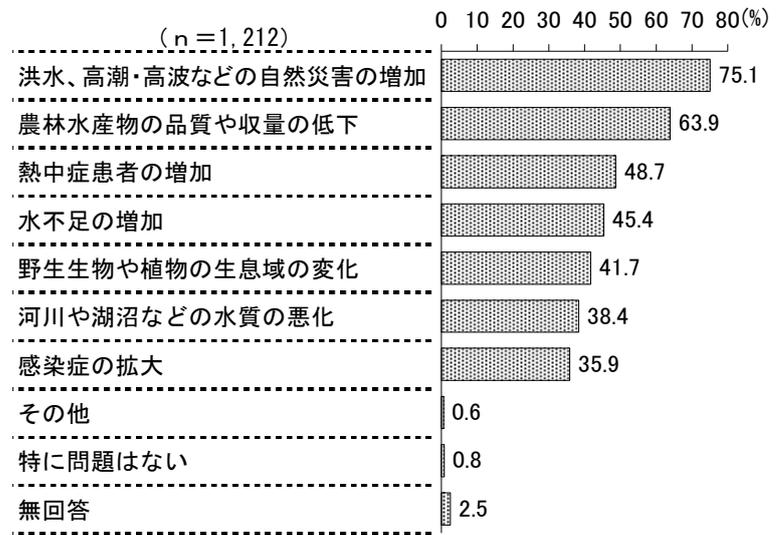
○地元の野菜は購入している。多少割高だが新鮮さが違う。  
(女性、40代、東葛飾地域)

# 11 気候変動による影響への適応について

## (1) 問題と感ずる気候変動による影響

(複数回答：いくつでも)

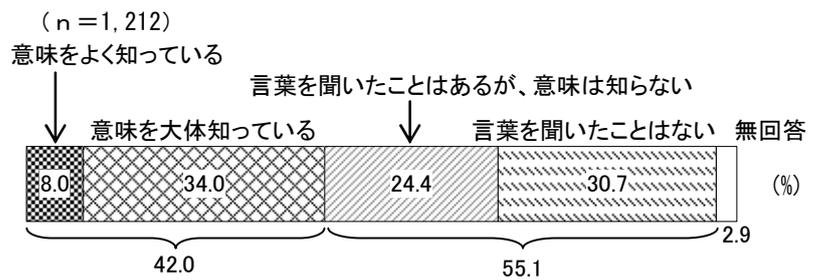
気候変動によるどのような影響が問題だと感ずるか聞いたところ、「洪水、高潮・高波などの自然災害の増加」(75.1%)が7割台半ばで最も高く、以下、「農林水産物の品質や収量の低下」(63.9%)、「熱中症患者の増加」(48.7%)、「水不足の増加」(45.4%)、「野生生物や植物の生息域の変化」(41.7%)、「河川や湖沼などの水質の悪化」(38.4%)、「感染症の拡大」(35.9%)が続く。



## (2) 「気候変動による影響への適応」の認知度

「気候変動による影響への適応」の認知度を聞いたところ、「意味をよく知っている」(8.0%)と「意味を大体知っている」(34.0%)を合わせた『知っている(計)』(42.0%)が4割を超えている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(24.4%)と「言葉を聞いたことはない」(30.7%)を合わせた『知らない(計)』(55.1%)は5割台半ばとなっている。



## 《「気候変動による影響への適応について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、69人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

- 気候変動で災害が昔に比べ増加しているのので、これ以上温暖化が進まないように1人1人が自然にやさしいエコバッグを持つなどして、温暖化が進まないように工夫していけたらなと思いました。  
(女性、20代、東葛飾地域)
- 家電製品を購入する時は必ず省エネ対応のものを買うようにしています。省エネ商品がもっと価格が下がればよいと思う。  
(女性、30代、葛南地域)
- 地球全体で考える問題で、企業はもちろん個人でもCO<sub>2</sub>の少ないものを使用する必要がある。  
(女性、65歳以上、千葉地域)
- 水害などの自然災害に対して強い都市づくりを推進願います。  
(男性、40代、東葛飾地域)
- 日かげが多くできるような、まちの環境の整備などの夏の暑さ対応。  
(男性、40代、千葉地域)
- 排気ガスの軽減、太陽光・風力等の自然エネルギーの推進。  
(女性、65歳以上、千葉地域)
- 最近は何年々気候変動による災害が増えていると思っている。  
(男性、65歳以上、印旛地域)
- 気候の変動が大きいので体がついていけない。森林をふやしたらいいのかな。  
(女性、60～64歳、夷隅地域)
- “適応”できるのが人間なので、なんとか適応していければと思いますし、個人宅でできることがあれば啓蒙活動をお願いしたいです。  
(男性、30代、東葛飾地域)
- この点については、千葉県主導というより、日本全体を巻き込んでいかないと、間に合わない状況に突入していると思います。ぜひ、国に発破をかけて頂きたいと思います。  
(女性、50代、東葛飾地域)

## 【県への意見（抜粋）】

県への意見を自由に記述していただいたところ、150人から延べ193件の回答が寄せられた。記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形(合計30項目)で整理した。意見の多い項目に関して、一部抜粋してご意見を記載した。

### ■県政全般に関する要望

○県民が安心して暮らせる千葉県であってほしい。いろいろな意味での弱者が安心して生活できることが、千葉県の発展につながるのでは。(男性、50代、海匝地域)

### ■公共交通網（バス・鉄道）を整備する

○JR内房線の便が悪く、進学、就職を機に他県へ移住される方が多くいます。鉄道、路線バスをもっと活用しやすくしてほしい。(女性、40代、君津地域)

### ■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○子育て支援の充実をお願いします。共働きしやすい、子育てしやすい、経済的負担軽減を期待します。保育園を増やして下さい。不妊治療支援をお願いします。(女性、40代、葛南地域)

### ■道路を整備する

○障害がある人が生活しやすい道路を作してほしい。自転車でも安全な道路。(女性、40代、千葉地域)

### ■県政の情報発信について

○千葉県は、地域ごとに特色がある魅力ある県だと思います。そのことをもっとアピールしてよいのではないのでしょうか。(女性、50代、千葉地域)

### ■高齢者の福祉を充実する

○介護支援専門員の研修費用をもう少し安くしてほしい。(女性、40代、東葛飾地域)

### ■学校教育を充実する

○今年の夏はとても暑かったので、小学校のエアコン設置を早急にお願ひしたいです。(女性、30代、千葉地域)

### ■医療サービス体制を整備する

○県立病院の経営に関心があります。民間病院のノウハウを生かし、赤字体質を何とかしてください。(男性、40代、葛南地域)

### ■観光を振興する

○佐原のお祭りを全国にもっと発信してほしいです。(男性、20代、香取地域)

### ■障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する

○障害者、知的障害者の施設を多く建ててほしい。グループホームの施設型のものや、亡くなるまでの施設を作してほしい。(女性、60～64歳、東葛飾地域)

## 【世論調査に関する意見（抜粋）】

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、108人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋して記載した。

- 項目が多く面倒だったが、この世論調査で知ったこと、勉強になったことも沢山ありました。ありがとうございました。（女性、65歳以上、千葉地域）
- アンケートの結果が、未来の千葉県にとって有意義な対策や活動につながることを願っています。千葉県で生活していることが、誇りに思えるような環境を実現してください。（男性、50代、葛南地域）
- 意外と時間がかかりましたね。個人的には電話やWeb会議システムを利用したインタビューでもよいかと思いました。（男性、30代、東葛飾地域）
- 初めて知ったこともあり、良かったです。一般企業ではヒアリング結果が活かされないことが多いですが、良い千葉県になることを祈っております。この方式ではなく、メール会員やアプリで、3～5問を年数回行う方が良いと思います。（女性、40代、千葉地域）
- 11月、12月は忙しいので、他の月に行ってほしい。（女性、50代、東葛飾地域）
- とてもこのアンケートの項目はよくできているので、皆さんの意見を、県政に生かせるよう、よろしくお願いします。（男性、60～64歳、東葛飾地域）
- いろいろな案件ではなく、一つの案件について具体的・詳細な世論調査もほしい。（男性、65歳以上、山武地域）
- 毎年、世論調査を実施しているようですが、もっと生活を左右する事柄を調査対象にしてくださいかったです。（男性、50代、印旛地域）
- 少し量が多いのではないかと思います。（女性、60～64歳、印旛地域）
- スマホからの回答がしづらく、ページ遷移する等、もう少し改善してほしい。（男性、30代、葛南地域）